

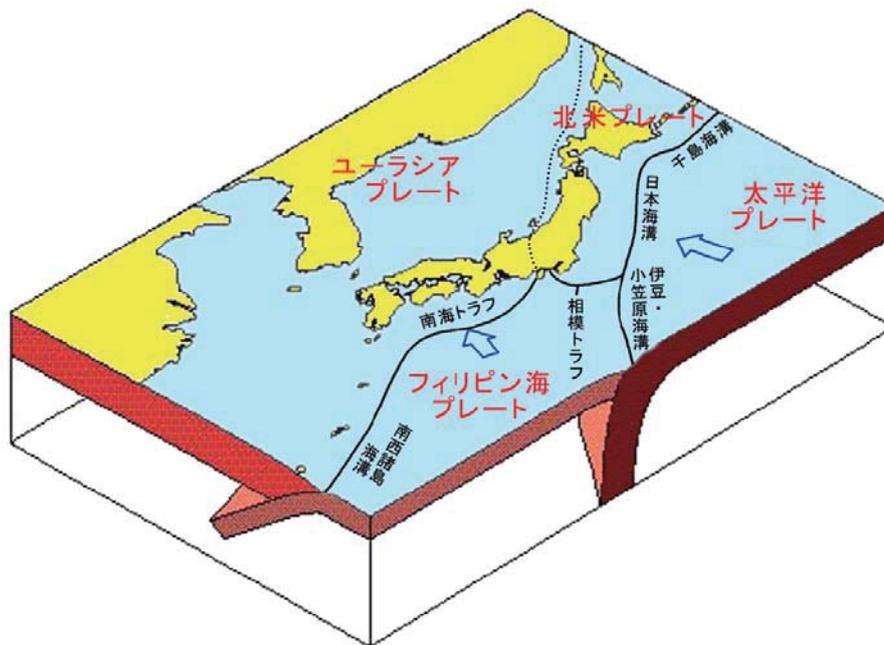
補足説明

<日本列島周辺のプレート>

日本列島とその周辺には、海側の太平洋プレート、フィリピン海プレート、そして大陸側のプレートがあり、たがいに近づいていることが分かっています。

太平洋プレートは、ほぼ東南東の方向から年間約8 cmの速さで大陸側のプレートに近づき、日本海溝などで陸側のプレートの下に沈み込んでいます。フィリピン海プレートは、ほぼ南東の方向から年間3~7 cm程度の速さで日本列島に近づき、南海トラフなどで陸側のプレートの下に沈み込んでいます。

今回検出された房総半島沖のゆっくり滑り現象は、相模トラフで沈み込んだフィリピン海プレートと陸側のプレートの境界面で発生しており、東北地方太平洋沖地震が発生した日本海溝で沈み込んだ太平洋プレートと陸側のプレートとの境界面とは別のものです。



日本列島周辺のプレート（「日本の地震活動 第2版」(地震調査研究推進本部, 2009) より)

<ゆっくり滑り (スロースリップ) >

地震波を放射しない、断層面やプレート境界面でのゆっくりとした滑り。

(「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の推進について (建議)」用語解説より)